

岩見沢市新病院基本設計(案)に対する意見募集（パブリックコメント）結果

＜意見募集期間 令和5年12月4日(月) から 令和6年1月12日(金)まで＞

1 提出者数 25人（全51件）

2 項目別の意見数

項目	意見数
1. 基本方針・コンセプト	3件
2. 計画概要	2件
3. 配置計画、災害時事業継続計画（BCP）、建替計画	7件
4. 建物構成、安全・安心への対策	0件
5・6. 平面計画	17件
7. 感染対応計画、構造計画、電気設備計画、機械設備計画	0件
8. 事業スケジュール、概算事業費、整備財源、収支シミュレーション	11件
9. その他基本設計以外に関すること（建設地・交通アクセス等）	11件
計	51件

番号	意見・提案・感想等	市の考え方
1. 基本方針・コンセプト		
1	<p>外観について 岩見沢駅や市役所と匹敵するデザインで、素晴らしいです。 3階以降が、マンションみたいにみえるので、2階に似せるのはいかがでしょうか。</p> <p>最後に、 「安心できるきれいな病院の近くに住みたい！」10年後、岩見沢市の移住選択の強みになることを期待します。</p>	<p>「南空知の燈(あかり)」をデザインコンセプトとし、3階以上の病棟階は、優しさとぬくもりのある印象を与えつつ雪・風の影響を考慮した角のないスクエア形状で設計したものです。 外観のデザイン等は、実施設計段階でも引き続き検討していきます。</p>
2	<p>基本コンセプトのうち「生活的価値(QOL)の向上」とあるが、具体的に向上させる生活的価値についてどういったものを指しているのか言及が無いので、新病院が目指す市民の健康的な姿というものが見えてこない。生活的価値とは一般社会において有効な用語であり、病院という空間においては外来者を含めた生活圏内市民のウェルビーイング、つまり精神的にも肉体的にも幸福感を得られるような病院を目指すべきであろうと考えるが、どうであろうか？</p>	<p>新病院の基本コンセプトは、質の高い医療を提供するだけでなく、南空知圏域住民に心身ともに健康で、社会的な活動も含めて生きがいや満足を得ることができるQOLを高めることにつながるサービスを提供する病院を目指すという趣旨で、基本計画において決定しました。 ウェルビーイング(個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること)という概念もございしますが、基本コンセプトにおいてはQOLを高めるという表現で整理したものです。</p>
3	<p>「新病院に向けた基本的な考え方・目指す姿」(4)「スタッフが誇りと働きがいを持てる魅力ある病院」について、現在、病棟に勤務する職員(特に看護師)が実施している業務は、人員(充足等)不足という事もあり、多様な業務や対応を求められ、多忙の中、実施しています。その中で、特に私が入院中に見たりして感じていたのは、高齢者等の要介護必要者に対する介護業務の比重の高まり(1日の中でも、結構な時間となっていると思います)により、他の処置・業務や実施したい事項の時間を圧迫しているように感じます。病棟へ介護士への採用・配置することにより、看護師及び介護士、それぞれの専門分野における業務を優先的に実施出来る環境により、各人の知識・技能(専門的な)の向上が図れるとともに、組織としても、オペレーションの円滑化、OJTによる後継者の育成及び魅力ある職場の醸成と士気の高揚へも繋がって行くのではないかと思います。</p>	<p>今後の職員採用・育成計画検討の参考とさせていただきます。</p>

番号	意見・提案・感想等	市の考え方
2. 計画概要		
1	<p>そもその病院規模も疑問です。人口減少が加速し、医療従事者も減ることから人員確保はもとより、患者数も人口減少率をシビアに捉えた規模を再考する必要があると感じます。</p>	<p>市立総合病院と北海道中央労災病院の患者数が新型コロナウイルス感染症の流行前まで戻る兆しが見えないことから、新病院の施設規模の見直しを行うこととしました。</p> <p>実施設計段階で現状の患者数や最新の将来推計人口を踏まえた適正規模の検証を行います。</p>
2	<p>2ページ 病院概要 診療科と病床数 今後人口減となるのにこのような大きな病院はいらないと思います。将来人口を加味した岩見沢市にふさわしい規模に縮小して考えるべきです。診療科も吟味し必大くくりの診療科として細かく細かく分割しなくても良いのではないのでしょうか。病床数についても現在の市立総合病院の病床数+アルファで良いと考えます。</p> <p>勤務するスタッフをそろえることも難しいのではないかと思います。そうすると診療報酬にも影響が出てきます。その辺の手当は十分なののでしょうか。</p>	<p>市立総合病院と北海道中央労災病院の患者数が新型コロナウイルス感染症の流行前まで戻る兆しが見えないことから、新病院の施設規模の見直しを行うこととしました。</p> <p>病床数については、実施設計段階で現状の患者数や最新の将来推計人口を踏まえた適正規模の検証の中で検討を行います。</p> <p>標榜診療科については、患者にわかりやすく細分化することを目指していますが、医師の充足状況や医療環境の変化などに応じて、適宜見直すこととしています。</p> <p>新病院の職員数については、施設規模の見直しと合わせて精査した上で計画的な採用を行っていきます。</p>
3. 配置計画、災害時事業継続計画(BCP)、建替計画		
1	<p>バスロータリー ① 雨、雪、風を防ぐ屋根や待合スペースなどにベンチの配置はあるのか？</p>	<p>メインエントランスからバスロータリーにかけては、雨風を防ぐカバードウォークの設置を、また、バス乗降場にはベンチの設置を検討しています。</p>
2	<p>スタッフさんが働きやすいように保育所なども、何かあればすぐかけつけられるよう、建物につないでいるといい。また、託児所や児童館みたいな物があれば安心して働けるのではないかと？</p>	<p>病院施設内に保育園を設置した場合、職員の移動などの負担が軽くなるなどのメリットがある一方で、建設コストが高くなることや、園児への感染対策が講じにくくなるといったデメリットがあることも踏まえて検討した結果、病院の敷地内に別棟で建設する計画としました。</p> <p>また、託児所や児童館のような機能は予定していませんが、院内保育園の定員を増員するなど、労働環境の改善に寄与する計画としています。</p>

番号	意見・提案・感想等	市の考え方
3	・国道12号側の出入口と2条通を繋げる交差点化はとても良い計画なので、仮設駐車場と一緒に建替計画STEP1の段階で最優先で着工・開通させてほしい。	北海道中央労災病院の運営を継続しながらの建設工事となるため、既存駐車場との高低差・交通動線などを考慮する必要があり、また、国道の道路管理者や公安委員会との信号機設置協議も必要なことから、STEP1の段階での開通は難しいと考えておりますが、今後、実施設計の中で最適な工程について検討します。
4	・路線バスの導線が国道側のみとなっているが、4条通側にも導線を作った方が良いと思う。(特に、岩見沢駅方向から来たバスが左折入場できるようになるので国道の交通を妨げにくくなる)	いただいた意見も参考に実施設計段階で引き続き外構の計画を検討します。
5	・バスロータリーもタクシープールと同様に建物1階に据え付けて、雨に濡れず乗り降りできるようにしてほしい。	バスロータリーには、バスが転回するために必要な広いスペースを要するため、メインエントランスに近接することは難しいですが、メインエントランスからバスロータリーにかけては、雨風を防ぐカバードウォークの設置を検討しています。
6	院内保育所について 公園を利用する場合、事前の点検が保育の仕事に入ってくる。新病院設立後の公園の清掃や点検は、保育士の負担にならないよう、町内の方々と協力できれば良いと思う。なにより、こどもの安全な外遊びのために、死角がなく、柵に囲まれた自園の公園を敷地に寄せて少しでもあると安心かと思う。	保育園に隣接して、安全に利用できる園庭(屋外遊戯スペース)の整備を計画しています。
7	P1「施設整備方針」第2項「災害や感染症に強い安全・安心な施設」及びP5～P6「平面計画」に関連する事項(備品)について、待合室等に使用する椅子を、災害時等にはベッドに出来る椅子を病棟などより多くの場所で使う事により、災害時やブラックアウト等による、処置受入増へも対応が可能となるため、有効であると思います。(1F受付ロビー等にある椅子は、当該椅子を既に採用しています)	実施設計以降の検討段階における参考とさせていただきます。
4. 建物構成、安全・安心への対策		
(なし)		
5・6. 平面計画		
1	コンビニ設置 ①イートインスペースはあるのか?	基本設計(案)5ページの平面計画の1階のコンビニに隣接した一角にイートインスペースの設置を計画しています。
2	コンビニ設置 ②食堂の設置は?	利用者及び職員の利便性から、院内に食堂・レストランの設置を検討しましたが、採算性の観点から設置が困難であると院内会議において判断し、コンビニとイートインスペースの設置を計画しています。
3	屋上 ベンチなど設置して、くつろぎ場所としてはどうか?	安全性や施設管理の観点から、屋上を開放する予定はありません。
4	バス待ち時間の方が多いので、待ち合い室のコーナーに工夫がほしい。	実施設計以降の検討段階における参考とさせていただきます。

番号	意見・提案・感想等	市の考え方
5	コンビニのスペースにお弁当等が食べられる場所があるといいです。	基本設計(案)5ページの平面計画の1階のコンビニに隣接した一角にイートインスペースの設置を計画しています。
6	採血室の工夫 現状は内科の患者さんが多くみられますが、採血室まで遠いので大変そうです。	現在の市立総合病院では、内科外来と採血室が建物の対角線上に位置し、移動距離が長くなっておりますが、新病院では、どの科の外来からも近く、視認性の良い、1階外来エリアの比較的中央に採血室を配置する計画としています。
7	たとえば、絵画やモニュメントを飾るならば、低予算で市に関わりがある方のものか、障がい者、教育大学生のものを展示し、あまり場所をとらないよう、その分、待合室など、病気の方その家族がくつろげるスペースを作ってほしい。	基本設計(案)1ページのデザインコンセプトに記載のとおり、木材の温もりあふれるデザインや癒しを提供するホスピタルアートを取り入れる計画としており、実施設計段階で具体的な検討を進めます。
8	スタッフの方(医療関係)が、ゆっくり休め、仕事にまい進できる場所もあると良い。	基本設計(案)6ページに記載の「スタッフベース」を各階に配置し、休憩をはじめ様々な用途で利用可能なエリアとし、業務の効率化やスタッフ間のコミュニケーションを促す計画としています。
9	お薬相談窓口を設置して頂きたいです。なぜなら、現在の岩見沢市立病院では、院内処方が行われており、新病院設立後の院外処方に慣れない患者さんも多いからです。 薬剤部を1階に設置して頂きたいです。高齢者の多い南空知地方では、地域医療が重要となるため、病院内のチーム医療だけでなく、外部の薬局との連携が必要になります。まず、入院後の在宅医療への移行や日常生活の復帰において、情報の共有が円滑となり、患者さんの待ち時間の短縮や適切な薬学管理ができると考えます。そして、岩見沢市の財政軽減対策として、現在院内処方により市の財政負担があると思います。今後、院外処方に切替え、病院と民間の薬局が協力することによって、適切な在庫管理と無駄な薬の廃棄削減が見込めると感じます。実施には、薬の共有や情報の共有が不可欠となるため、薬剤部の1階設置をお願いしたいです。	1階の中央待合に隣接した新病院の「顔」とも呼べる場所に、様々な相談や支援に迅速に対応できる総合支援センターを配置し、薬の相談にも対応できる計画としています。 また、供給機能である薬剤部門(薬品倉庫など)には一定の広さの面積が必要なことから、多くの利用者が訪れる一等地の1階には設置せず、地下1階への配置を予定しています。

番号	意見・提案・感想等	市の考え方
10	<p>各フロア待合室、ナースステーション等(特に4階緩和ケア・回復期リハビリ室、5階小児・周産期病棟)</p> <p>「アートを通したやさしくてあたたかな環境づくり」の提案</p> <p>病院で過ごす時間が、単に病気の治療だけでなく、心が癒されたり、安らげるなど、少しでも豊かになるようなホスピタルアートに着目し、取り入れていただけたらと考えます。</p> <p>岩見沢市は、アールブリュットギャラリーを運営し、アートと人をつなぐ取り組みにも力を入れていると思います。</p> <p>地域の方々の他、障害者施設利用者、教育大生、入院患者さん、病院スタッフ等、様々な方の作品を病院内に展示できるような空間設備を提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロデュースに地域学生や作家、専門家の参画 ・展示ができる壁面設備(可動フックやニッチェ) ・小児病棟や小児リハビリ室の壁面(壁紙)に使用するアート作品を募る ・玄関入り口エントランス等に、大きなアート作品を組み込む(作品づくりは岩見沢市民に公募する。又は団体、学生等に依頼するなど) 	<p>基本設計(案)1ページのデザインコンセプトに記載のとおり、木材の温もりあふれるデザインや癒しを提供するホスピタルアートを取り入れる計画としており、実施設計段階で具体的な検討を進めます。</p>
11	<p>■医療現場における『1% for art』の導入</p> <p>郷土出身(幾春別生まれ岩見沢東高卒)の世界的現代美術家川俣正に活躍の場を設けていただく。</p> <p>岩見沢市庁舎の市民意見交換の場では、同じように川俣正を押し我々グループに対して、「川俣さんには活躍の場を、ぜひ別に設けたい」という説明がありました。</p> <p>その機会は、この市立病院の計画ではないかと確信しております。</p> <p>利用者(外来・入院患者)、スタッフなどの様々な市民に対して、カワマタ現代美術は、「新しい燈」をきっとこの医療の場にもたらしてくれると思います。</p> <p>建築はもとより環境もひっくるめたパブリックなゾーンが想定されますが、それはこれから具体的に本人と共に詰めていくことになると思います。</p>	<p>基本設計(案)1ページのデザインコンセプトに記載のとおり、木材の温もりあふれるデザインや癒しを提供するホスピタルアートを取り入れる計画としており、実施設計段階で具体的な検討を進めます。</p>

番号	意見・提案・感想等	市の考え方
1 2	<p>・1階にコンビニが入居する計画となっているが、フロアの中央ではなく外側(平面図の右上～右下のライン)に配置し、周辺住民など院外からの利用も呼び込んだ方が良いと思う。岩見沢市の人口の状況では、職員と患者だけの利用だと採算が取れずやすく撤退してしまいそうで不安が残る。</p>	<p>基本計画段階で複数の事業者への聞き取りを実施し、病院のコンビニエンスストアは外来利用者・入院患者・職員といった比較的限られた顧客を対象としており、正面玄関やロビー等から視認できる立地であれば出店可能であると伺っていることや、病院外部との直接の出入口は感染対策やセキュリティ上の課題があるほか、建設地周辺の国道沿いにはすでにコンビニエンスストアが2店舗出店していることなどから、周辺住民からの利用は期待できないため、現在の場所へ配置する計画としました。</p>
1 3	<p>ブロック受付の設備、機能は不明ですが、現在行われている外来時の待合室での看護師による問診については、個人のプライバシーを考え他人に聞かれないように問診専用室を設置することが必要です。</p>	<p>外来各ブロックに問診ブースの設置を計画していますが、声が聞こえ漏れないようプライバシーに配慮したつくりをするとともに、タブレットの利用やAI問診といった技術の活用等もあわせて検討していきます。</p>
1 4	<p>1階にカフェを手稲の溪仁会病院では、民間のカフェが入っている。また、コンシェルジュのようなボランティアの方がいることで、ホテルみたいな雰囲気、受診の不安が軽減された。患者や患者家族の不安を軽減できるような1階の雰囲気づくりが付加価値につながる。</p>	<p>1Fにコンビニエンスストアを設置することとしていますが、カフェの設置については、事業者へのヒアリング結果も踏まえ、今後も引き続き検討します。</p> <p>また、1Fメインエントランスの正面には新病院の「顔」となる総合支援センターを配置し、案内・相談・支援などを総合的に担うことで、患者や家族・利用者等の不安を軽減できる落ち着いた環境を整備します。</p>
1 5	<p>2階について 細菌検査と食事するスペースが同じ階にあるのは、感染の危険を感じる。</p>	<p>細菌検査エリアは、スタッフエリア側には出入口を設けただけでなく、安全キャビネットの設置や陰圧対応の空調管理などにより、検査室外に漏洩しないよう適切な感染防止対策を施す計画としています。</p>
1 6	<p>地下について 地下の栄養グループは、食べている人や調理の人と日々触れること。また、患者にアンケートや耳を傾ける体制づくりが「岩見沢の病院食がおいしい」につながるのではないのでしょうか。 患者に寄り添うための薬剤部も同様で、患者の顔がみえるところが最適ではないか。患者のサポートをする薬剤や栄養は、患者との動線の見直しが必要ではないのでしょうか。</p>	<p>栄養部門は患者給食の調理を行う厨房を、薬剤部門は薬品倉庫・調剤・製剤を主としたスペースであり、一般的に患者が出入りするのこない供給部門であることも踏まえ地下に配置しています。</p> <p>薬剤師による服薬指導や栄養士による栄養指導は、1階に設置する総合支援センターに職員が移動して実施することで、患者のワンストップ窓口として対応する計画としています。</p>

番号	意見・提案・感想等	市の考え方
17	<p>4階について 緩和ケアと回復期の患者が同じ階は、充分配慮されているのでしょうか。 緩和ケアは眺めのよい最上階はいかがでしょうか。むずかしいとは思いますが、職員の休憩室も最上階にあると、人と人とのつながりができ、闘病というより、生活を感じることができるのではないのでしょうか。</p>	<p>各病棟のフロア配置は、それぞれの病床数や必要面積、各診療科・機能との連携を総合的に勘案して、両病院での議論において決定しました。</p>
7. 感染対応計画、構造計画、電気設備計画、機械設備計画		
(なし)		
8. 事業スケジュール、概算事業費、整備財源、収支シミュレーション		
1	<p>事業費が岩見沢市の財政バランスから考えると危険水域の数値かと思えます。 収支シミュレーションもどのような患者数及び母数を以て計算しているのか？ かなり見通しの甘い計算をされているのではないかと疑問を持ちます。</p> <p>自分事と捉えるとこの計画には現時点で反対としか言えません。 市中心からわざわざ離れた立地。 市の身の丈に合っていない事業費。 人口減少・高齢者増・交通インフラ脆弱化の将来を見据えているのか不安。</p>	<p>建設地の選定にあたっては、「早期性」「経済性」「防災と安全性」「利便性」を重視し、国道に面した立地の優位性を高く評価し、基本計画において北海道中央労災病院用地に決定していることから建設地を変更する予定はありません。</p> <p>新病院の施設規模については、市立総合病院と北海道中央労災病院の患者数が新型コロナウイルス感染症の流行前まで戻る兆しが見えないことから、実施設計段階で現状の患者数や最新の将来推計人口を踏まえた適正規模の検証を行うこととしており、今後、施設規模の見直しと合わせて概算事業費や収支シミュレーションの精査も行う予定です。</p> <p>交通インフラにつきましては、利用しやすい運行ダイヤと必要便数の確保など、新病院への交通アクセスの更なる向上に向けて、公共交通事業者などの関係機関と協議していきます。</p>
2	<p>・今の市立病院は、日によって車を止める場所が無く困っています。 上記の事から、早期に患者が利用しやすい新しい病院に建て替えることを望んでいます。</p>	<p>現在の市立総合病院が抱える課題の一つには、駐車場不足も挙げられることから、これらの課題を克服し、将来の医療ニーズに対応するため、引き続き令和10年春の開院を目指し取り組んでいきます。</p>
3	<p>・今の市立病院は待合の場所も狭いので、具合が悪い時は困ります。 上記の事から、早期に患者が利用しやすい新しい病院に建て替えることを望んでいます。</p>	<p>現在の市立総合病院が抱える課題の一つには、病棟の狭あい化も挙げられることから、これらの課題を克服し、将来の医療ニーズに対応するため、引き続き令和10年春の開院を目指し取り組んでいきます。</p>

番号	意見・提案・感想等	市の考え方
4	<p>これからは働く人がどんどん減っていく時代になり、市民の命を守る医療に不安を感じています。労災病院との統合で働く人を一つに集約して効率化を目指すことは、この地域にとって良いことだと思いますので、一日も早く実現してほしいと思います。</p>	<p>新病院建設に向けたスケジュールは変更しませんが、人口減少に伴う医療従事者の不足が懸念されるほか、両病院の厳しい経営状況の見通しを踏まえ、効率的かつ安定した経営基盤のもとで持続可能な地域医療を提供していくためには、できる限り早期に医療資源の集約化が必要であるとの認識から、早期経営統合に向けた検討を進めることとしております。</p>
5	<p>4年後のオープンということですが、待ち遠しいですね。新しい病院は、岩見沢だけでなく周辺の町も期待する南空知の中心的な病院になると思うので、これ以上遅らせることなく、できるだけ早く建ててほしいと思います。</p>	<p>南空知医療圏における地域センター病院として、将来の医療ニーズに対応するため、引き続き令和10年春の開院を目指し取り組んでいきます。</p>
6	<p>新たな感染症や突然の自然災害が起きるたびに医療体制の重要性を思い知らされます。新病院の素案では、市立病院と北海道中央労災病院のそれぞれの課題を統合という形で解決し、急性期医療や救急医療を担う機能はもちろんのこと、新たな感染症の拡大や災害時においても、南空知の拠点となる病院として大きな役割を果たしてくれると思います。</p> <p>建物の免震構造のほか、電気・水道の確保、ヘリポートの整備など、災害時活動を想定した施設整備により医療体制の継続性が担保されることは、岩見沢市民だけでなく南空知住民の期待も大きく、早期の完成を待ち望んでいると思います。</p> <p>今後も、実施設計完成までに課題を整理したうえで工事中へと進め、スケジュールどおり完成するようお願いいたします。</p>	<p>引き続き令和10年春の開院を目指し取り組んでいきます。</p>
7	<p>私は最近岩見沢市に引っ越してきた個人事業主です。</p> <p>「収支シミュレーションには根拠となるデータがない」「医療従事者が確保できる見通しが立っていない」といったことが懸念点ですが、そもそも「経常収支比率が高い岩見沢市が優先して取り組むべき課題なのか」という疑問が一番の焦点だと考えています。</p> <p>多くの課題に直面している岩見沢市が最優先で取り組むべき課題は、経常収支比率を下げるための大きな改革ではないでしょうか。</p> <p>デジタル化やAIによるコスト削減、雪の活用、ふるさと納税の強化、移住者や観光客を増やすための大規模な街づくり戦略など、市が積極的に対策を講じないと、良くて現状維持の岩見沢市の未来は不安です。</p> <p>423億円を新病院の建設に使うのではなく、その資金で経常収支比率を下げる改革を行い、市や市民にとって様々なメリットが生まれることを期待しています。</p> <p>お忙しいところは存じますが、ご確認をよろしくお願いいたします。</p>	<p>市立総合病院は、市民のみならず南空知医療圏域住民の命と健康を守る地域センター病院として医療の提供を行ってきましたが、建物・設備の老朽化などの課題を解決するため、さらには人口減少下を見据えた医療資源の集約化に向けた北海道中央労災病院との統合新病院の建設は、非常に優先度の高い喫緊の課題です。</p> <p>新病院の建設はこれまでにない大型の事業費となるプロジェクトであるため、経常収支比率や財政健全化指標などの財政指標をはじめ、市の財政や病院経営に与える影響を検証しながら取り組んでいきます。</p>

番号	意見・提案・感想等	市の考え方
8	<p>新病院基本設計案の内容の全体について質問致します。</p> <p>添付の内容についての基本的な思いは、こんな立派な病院が岩見沢にあればいいねえ。とは思いますが、はたしてこの少子高齢化まっただ中のこの時代にここまで立派な施設は必要なんでしょうか？空知の中核を担う病院としての気持ちはわかりますが、今後、町の税収も少なくなり、人口減、入院患者よりも働く人を確保出来るのか、そして、財政の圧迫がとて心配です。</p> <p>建設費については触れていませんが、今時点で430億くらいまで膨れ上がっていると聞いています。今後500億まで…とのうわさも聞こえますが、労災病院と市立病院が合併したとはいえ、これまでの病床数を確保する必要があるとは思えません。</p> <p>町の外れに大きな病院を建てるより、100億程度の病院を3棟、労災の場所、中心市街地、大和などの拠点を分散した病院建設をすることは出来ないでしょうか？</p> <p>緊急的な病院としては必要だと思いますが 病院へ行く側としては、出来るだけ腕の良い先生がいるのであれば、どんなに遠くでも行くのが心情だと思います。</p> <p>今後、街をコンパクトに向けて…という考えがこの10年以上中々実現できていない状況なので、街中には商工会議所の場所やその隣のJAいわみざわ跡地が広い空き地になる予定もあります。民間と病院とのコラボも出来るような、そういった病院だけではない収益にも繋がる方向性も検討して頂きたいです。</p> <p>1部分を会議所を間借りさせたり、病床数をどうしても確保するのであれば、民間の介護施設へ変更も可能な設計にするなど、もっと収支決算の内容の再検討や、将来永続的に町が存続出来るような現実味がある病院設計をお願い致します。</p> <p>あんな素晴らしそうな？立派な病院はいりません。</p> <p>一市民として、出来る限り岩見沢に住んでいたいですが、今後財政破綻の可能性も考えられる町には住んでいたくありません。</p> <p>要約として…</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 立派な病院像ですが、今の岩見沢の情勢や今後の未来へ向けてこんな病院はいりません。 (2) 資材高騰が続いている中、当初の予算内でおさまる内容であればまだしも、理想のままなので、再検討をお願いします。 (3) 分散型の小規模病院にして利用しやすい、予算内の病院設計を。 (4) とにかく今後収益がなくなるお金がない町に自慢の建造物はいらない。 <p>お金の話が多いですが、それこそ「身の丈」にあった病院設計を。</p>	<p>新病院の施設規模については、市立総合病院と北海道中央労災病院の患者数が新型コロナウイルス感染症の流行前まで戻る兆しが見えないことから、実施設計段階で現状の患者数や最新の将来推計人口を踏まえた適正規模の検証を行うこととしており、今後、施設規模の見直しと合わせて概算事業費や収支シミュレーションの精査も行う予定です。</p> <p>また、病院の施設基準では手術室、臨床検査室、放射線装置、給食施設など必ず設置しなければならない施設が定められており、複数の病院建設により機能が重複するため費用対効果の面から小規模病院の分散配置は考えておりません。</p>

番号	意見・提案・感想等	市の考え方
9	<p>8ページ 概算事業費 大きな病院を基本に考えているので 事業費が423億円に膨らんでいます。将来の人口規模にあった規模にすることで事業費の縮小が可能となります。</p>	<p>新病院の施設規模については、市立総合病院と北海道中央労災病院の患者数が新型コロナウイルス感染症の流行前まで戻る兆しが見えないことから、実施設計段階で現状の患者数や最新の将来推計人口を踏まえた適正規模の検証を行うこととしており、今後、施設規模の見直しと合わせて概算事業費や収支シミュレーションの精査も行う予定です。</p>
10	<p>8ページ 収支シミュレーション 開院3年目で黒字化する根拠が理解できません。高度医療を求め札幌などの病院に診療を求める動向を止めることは不可能な気がします。現在でも市立総合病院から高度な医療を受けるために転院している患者さんがいますが同様の状態が続くと考えます。病状を診断し市立病院で治療できない場合はより治療を受けるための振り分けの出来る賢い病院とすることが肝要と思います。</p>	<p>一般的に病院建設においては、開院当初の数年間は移転費や医療機器などの大規模な投資に伴う減価償却費により経営が悪化傾向にあり、新病院の収支シミュレーションにおいても同様の要因から開院後3年目までは赤字となり、4年目以降に黒字化するという見通しとなりました。</p> <p>また、新病院ではHCU、緩和ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟など現在南空知医療圏域にはない機能の新設を予定しており、住み慣れた地域で一定の医療を受けられる体制を整えるとともに、これまで以上に札幌などの高度医療を提供する医療機関との連携強化を図ることとしています。</p>
11	<p>今後岩見沢だけでなく近隣自治体も人口減少局面を迎えるという時代背景の中で、病院が稼働してから一番多い人口である令和10年時点から始まって三年間、すでに赤字を見据えているということに、違和感を覚える。</p> <p>今後ますます財政がひっ迫していくことが分かっている時点で、四年後に黒字化するから初めの三年間は赤字で良いという考えでは、市の財政として健全であるのか。</p> <p>もちろん人口が減っていくということは利用者も減るわけで、そこのところは計算に入れているのか。当初から黒字化を目指す統合でなければ、何のための統合であるのか。そもそもの建築費用が、建築資材の高騰によってますます増加することはないのか、不安が残る。コンパクトシティという、必要最低限のインフラをそろえた中心市街地に集住することでコストを削減するという考え方があるように、病院も機能をしっかりと持たせたまま、持続可能な予算規模と運営予算でまわるような大きさの病院にするべきではないのか。</p> <p>20年後の人口が半減するということが、人口問題研究所の試算で見えてきているのに、減らないことを前提として現時点の人口規模に合わせた大きな病院にすることの効率性の悪さをもっと考えてほしい。</p>	<p>一般的に病院建設においては、開院当初の数年間は移転費や医療機器などの大規模な投資に伴う減価償却費により経営が悪化傾向にあり、新病院の収支シミュレーションにおいても同様の要因から開院後3年目までは赤字となり、4年目以降に黒字化するという見通しとなりました。</p> <p>新病院の施設規模については、市立総合病院と北海道中央労災病院の患者数が新型コロナウイルス感染症の流行前まで戻る兆しが見えないことから、実施設計段階で現状の患者数や最新の将来推計人口を踏まえた適正規模の検証を行うこととしており、今後、施設規模の見直しと合わせて概算事業費や収支シミュレーションの精査も行う予定です。</p>

番号	意見・提案・感想等	市の考え方
9. その他基本設計以外に関すること(建設地・交通アクセス等)		
1	<p>市立病院の建て替えの件につきまして、現在の労災病院駐車場の計画で問題ないのでしょうか？岩見沢市の中心地から離れており、計画地決定時に予定していたシャトルバスの運行ですが、公共交通機関であるバスの減便や廃止がこの12月から具現化し、運転手不足により今後は更に悪化が見込まれる中、高齢者や身体が不自由な方はどの様に不便なく通院できるのでしょうか？</p> <p>市立病院である以上、どの地域に住んでいてもみんな相応に通いやすい場所に建てなければ、医療福祉サービスに偏りが発生し不公平感が大きくなるのではないのでしょうか？</p> <p>以前、美園の市営住宅4棟を壊し病院敷地にできないか問うたところ、1000年に一度の災害(豪雨による洪水等)に耐えられる場所という選考基準で建設地を決めたという耳を疑う話をされましたが、立て方の工夫などによりその場所でも建設は可能であることは明白であり、1000年に一度の災害を危惧しすぎて本来提供できるはずのより良い市民へのサービスの提供ができないことの方が問題だと考えます。</p> <p>今後通院の足が十分に確保できなくなる現実(バス及びタクシー)が判明した今、一度決めたからそのまま進むのではなく、総合的かつ俯瞰的に再度見直しを行い、市民ができるだけ等しく医療サービスを受けられる体制であるか考えて、変更すべきは変更するという正しい判断を行っていただきたい。</p>	<p>建設地の選定にあたっては、「早期性」「経済性」「防災と安全性」「利便性」を重視し、国道に面した立地の優位性を高く評価し、基本計画において北海道中央労災病院用地に決定していることから建設地を変更する予定はありません。</p> <p>新病院への交通アクセスの確保に向けては、市内全域から路線バスにより乗り換えなしでアクセスすることは難しいですが、利用しやすい運行ダイヤと必要便数の確保など、公共交通事業者などの関係機関と協議していきます。</p>
2	<p>バスロータリー ② アクセスは問題ないか？ 例 病院からJR岩見沢駅方面、上幌向・幌向方面、栗沢方面等</p>	<p>新病院への交通アクセスの確保に向けては、市内全域から路線バスにより乗り換えなしでアクセスすることは難しいですが、利用しやすい運行ダイヤと必要便数の確保など、公共交通事業者などの関係機関と協議していきます。</p>
3	<p>新病院へのアクセスについて</p> <p>「岩見沢市地域公共交通再編実施計画」を見直し、路線バスのハブ化等を検討することにより、特に高齢者が通院しやすい環境を整えることが必要と思います。</p> <p>バスターミナルと市立病院間のシャトルバス等、自動運転を念頭に置いた場内の通路を整備しておく必要がある。</p>	<p>新病院への交通アクセスの確保に向けては、市内全域から路線バスにより乗り換えなしでアクセスすることは難しいですが、利用しやすい運行ダイヤと必要便数の確保など、公共交通事業者などの関係機関と協議していきます。</p>

番号	意見・提案・感想等	市の考え方
4	<p>現在進められている新病院の計画は、国、道、市、が目指している地域医療の中で、頼もしい存在であることを知りました。令和10年が楽しみです。(令和10年には、私は、後期高齢者で、わがまま です)</p> <p>市民(私)が新病院を新規利用する時 市中病院の紹介状が必要なのでしょうか</p> <p>直接新病院で診察してもらいたいものです。</p> <p>市中病院で、紹介状を書いてもらうのは、どうしても気が引け 紹介状を書いてもらうだけなのに待ち時間が長くなります。出かける回数も別方向に2回(2日間)となり、不便です。</p>	<p>医療機関には、主に外来診療で軽症を担うかかりつけ医(一次医療機関)から入院・救急医療を担う二次医療機関、重症患者に対してさらに高度な医療を担う三次医療機関と機能が分かれており、市立総合病院は二次医療機関であるのに対し、軽症はかかりつけ医にかかっていたことが原則と考えます。</p> <p>軽症を含めた全ての患者が市立総合病院にかかった場合、全体の待ち時間が長くなり、より高度な医療の提供が必要な患者に治療や手術が及ばなくなってしまう可能性があるため、紹介状による受診が基本になると考えています。</p>
5	<p>薬の受け渡しについて</p> <p>医薬分離の政策であることは存じています。</p> <p>それでも、薬は院内で受け取りたい。</p> <p>特に、寒くて、大雪の時、新病院から出て、駐車場まで歩き、車の雪払い、薬局へ行き処方箋を渡し、待つ薬を受け取る。また車の雪払いです。雪道の移動は事故も心配です。</p> <p>少しばかり待ち時間が長くても、少しばかり薬が高くても 暖かい新病院の薬局で薬を受け取りたいと願います。</p> <p>(私)の安全、安心のために。</p> <p>それでも、最後は岩見沢新病院です。</p> <p>以上、令和10年後期高齢者の(私)わがままな希望を記させて頂きました。</p>	<p>国では医薬分業を進めていることや、道内の公立病院で院外処方を導入していないのは岩見沢市だけであることも踏まえ、新病院の外来処方については院外処方を導入しますが、病院外の保険調剤薬局への動線など、患者の負担を極力少なくできるよう配慮します。</p>
6	<p>郊外に住む方の為バスなど(無料か少しお金をとるとか)</p>	<p>新病院への交通アクセスの確保に向けては、市内全域から路線バスにより乗り換えなしでアクセスすることは難しいですが、利用しやすい運行ダイヤと必要便数の確保など、公共交通事業者などの関係機関と協議していきます。</p>

番号	意見・提案・感想等	市の考え方
7	<p>これから人口減少は加速し、岩見沢市もコンパクトシティ化は必須。バス等の二次交通も今後は更に人手不足になります。計画での立地は駅から遠く、非常に不便に感じます。</p> <p>高齢者も増え自身で車の運転も困難になります。少なくとも省コスト大量輸送可能な鉄道駅から近く、バス等でも駅からの距離の短い岩見沢駅周辺に施設は集中させた方が良いと思います。</p>	<p>建設地の選定にあたっては、「早期性」「経済性」「防災と安全性」「利便性」を重視し、国道に面した立地の優位性を高く評価し、基本計画において北海道中央労災病院用地に決定していることから建設地を変更する予定はありません。</p> <p>なお、建設候補地の検討の際には岩見沢駅周辺についても検討しましたが、病院を建設できる十分な敷地がなく、仮に大規模な用地買収を伴うこととなれば、補償費など高額な事業費と時間を要することになり、事業費とスケジュールに大きな影響を与えることとなるため候補地から外れております。</p>
8	<p>病院の設計に関する意見など、専門的知識がないのでありませんが、市立病院の位置が市の中心から相当の距離北へ移動することから、栗沢、幌向、北村地域から通院することが大変になります。高齢者が増えて免許返納が増えることから、各地域から市立病院への通院に支障の無いようバス路線の検討をお願いします。せっかくの市立病院が市民にとって利用しやすいものとなるよう切に願います。</p>	<p>新病院への交通アクセスの確保に向けては、市内全域から路線バスにより乗り換えなしでアクセスすることは難しいですが、利用しやすい運行ダイヤと必要便数の確保など、公共交通事業者などの関係機関と協議していきます。</p>
9	<p>(注：無痛MRI乳がん検診の新聞記事添付)</p> <p>上記MRIを導入される予定であれば良いのですが、そうでなければ是非導入を検討していただきたいので、送りました。</p> <p>私も16年前に乳ガンになり今でも1年に1度は、マンモグラフィー検査を受けています。ガマンできる痛みではありますが、知人は痛いので受診しない人も何人もいて、1人は発見が遅れ亡くなった人もいます。「痛くない」すごい事だと思います。よろしく、お願いします。</p>	<p>無痛MRI乳がん検診は、痛くないことや検査着を着たまま検査ができること、放射線被ばくがないといったメリットがありますが、自由診療で医療保険が適用されず、費用が高額となるなどの理由から、全国的にも実施している医療機関は少なく、現時点では導入の予定はありませんが、新病院ではマンモグラフィーに加え、痛みがない乳腺超音波(エコー)検査の導入も予定しています。</p>
10	<p>公共機関を利用したアクセスの充実が問われると思います。駅、市役所も含めた自動運転バスの検討を並行した考えなど如何でしょうか？</p>	<p>自動運転バスについては、岩見沢市も含め全国で実証実験が行われていますが、社会実装に向けては課題も多く、まずはバスやタクシーといった既存の交通手段を使ったアクセスを検討します。</p>
11	<p>(9)「移転費など」に関連する事項について、病院の建て替えによる移転は、平成27年3月に自衛隊札幌病院が旧病院(札幌市豊平区平岸)から新病院(札幌市南区真駒内)へと、同じように移転しております。同じ官公庁であるということもありますので、各役務等契約や共通する部分、病院の移転等に関する事項や実施要領・問題点等について情報収集・共有が図れれば、より円滑かつ経済的な移転の実施が可能であるのではと思いました。</p>	<p>実施設計以降の検討段階における参考とさせていただきます。</p>